

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		創造都市・文化振興課
	06	01	01	03	01	

政策
生涯学習社会の実現

政策の内容

いつでも、どこでも、誰でも学べる環境づくりと学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくりを推進するため、学習の情報や機会の充実、学習環境の向上、担い手の育成に取り組めます。講座においては、質の向上と内容の充実を図り、地域や大学等との連携によりニーズに合った満足度の高い生涯学習講座を開催します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生涯学習環境 の充実	あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか。	2.43	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

講座においては、地域のニーズや需要に合った生涯学習講座の開催のほか、生涯学習スキルアップ講座や学習成果活用事業の開催により生涯学習講座の担い手育成を推進している。また、生涯学習施設においては、老朽化に伴う設備機能の不具合等により設備修繕や改築工事などを実施している。楽しみや生きがいが見つかるまち・浜松を目指して、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習環境づくりや学習成果を適切に生かすことのできる機会の提供、生涯学習施設の管理運営及び施設整備が必要である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	3,129,798				
決算	3,079,738				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	6.0				
会計年度任用職員	1.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
講座等開催事業	生涯学習施設を拠点として、生涯学習の啓発と普及のため各種講座等を開催することで、市民の学習する機会を提供する。 ○アクティブ・シニア講座開催事業 ・地域の人々の生きがいづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、高齢者を地域社会を支える人材と捉え、地域社会への参画と学びの循環の構築を図る講座を提供する。 ○市と大学との連携事業～大学生による講座 ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めていく。 ○生涯学習人材育成事業 ・生涯学習講師登録者に向けて、スキルアップ、レベルアップできる養成講座を実施するとともに、新たに講師として活躍できる人材発掘に努める。また地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動ボランティアを幅広く募集し、地域や学校等教育施設において活躍できる機会を提供する。	52,835
		47,518
学習成果活用事業	生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活や社会生活の中で培ってきた知識、経験等の学びを、社会に還元する機会を提供する。	2,376
		1,361
子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)	将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施する。	13,351
		13,351
生涯学習施設運営事業	各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行う。 ○科学館運営事業 ・常設展、特別展、プラネタリウム等の管理運営を行う。 ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催する。 ・ホール、セミナールームの貸館業務、科学館学習情報システムの運用を行う。 ・2026年度の第二期展示更新に向け、展示更新実施設計書を策定し、展示物を制作する。 ○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北ホール及び駐車場運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業	3,052,073
		3,010,824
学習等供用施設整備事業	地元自治会からの要望に応じて、学習等供用施設の改修を進める。 また、国の一般助成制度を活用して施設改修が進められるよう準備を行っていく。	9,163
		6,684

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学習成果活用事業における講座数(講座)	学習成果を活用した講座開催数	市民が主体的に学習活動に取り組む場や日常生活、社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元するための場である学習成果活用事業における講座数を測る指標であり、実績により機会創出に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	90	90	90	90	90
			実績値	80 (2023 年度)	83 (2024 年度)				
			達成率	-	92%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学習成果活用事業における講座参加数(人)	学習成果を活用した講座参加者数	市民が主体的に学習活動に取り組む場や日常生活、社会生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元するための場である学習成果活用事業の講座参加者数の実績維持により学習機会の創出の寄与継続につながると見込んでいる。	目標値	-	2600	2600	2600	2600	2600
			実績値	2591 (2023 年度)	2210 (2024 年度)				
			達成率	-	85%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
講座等開催事業及び学習 成果活用事業の参加者総 数(人)	○	生涯学習事業実施結果 ※生涯学習事業実施結果 報告書より	実績値	51,909 (2023 年度)	51,854 (2024 年度)					55,000
			達成率	94%	94%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが、楽しみや生きがいを持って生涯学習に取り組んでいる。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
講座等開催事業	生涯学習施設を拠点として、生涯学習の啓発と普及のため各種講座等を開催することで、市民の学習する機会を提供した。 ○アクティブ・シニア講座開催事業 ・地域の人々の生きがいづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、高齢者を地域社会を支える人材と捉え、地域社会への参画と学びの循環の構築を図る講座を実施した。 ○市と大学との連携事業～大学生による講座 ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めた。 ○生涯学習人財育成事業 ・生涯学習講師登録者に向けて、スキルアップ、レベルアップできる養成講座を実施するとともに、新たに講師として活躍できる人材発掘に努める。また地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動ボランティア。	市民の多彩な学習機会を確保するとともに、講師やボランティアの育成・活躍支援を推進する。また、大学との連携強化や地域学校協働活動のさらなる充実を図り、学びを通じて地域社会を支える人材育成の仕組みづくりを着実に進める。
学習成果活用事業	生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活や社会生活の中で培ってきた知識、経験等の学びを、社会に還元する機会を提供した。	生涯学習施設を拠点とした機会提供に努め、市民が培った知識や経験の社会還元を促進する。
子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)	将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施した。	産学官の連携を強化して特別課外講座を実施し、将来の地域産業を担う優れた人材の育成に努める。
生涯学習施設運営事業	各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行った。 ○科学館運営事業(常設展入場者数175,934人) ・常設展、特別展、プラネタリウム等の管理運営を行った。 ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業等を開催し、科学学習の機会と地域連携の強化を図った。 ・ホール、セミナールームの貸館業務、科学館学習情報システムの運用を行った。 ・2026年度の第二期展示更新に向け、展示更新基本設計書を策定し、展示更新内容の検討を行った。 ○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北ホール及び駐車場運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業	科学館については、第二期展示更新を着実に進め、来館者の満足度向上と来館者数の増加を図る。あわせて、企業・大学、学校等との更なる連携の強化を図ることにより、地域との関わりを深めるとともに、市内外に向けて更なる情報発信に努める。 また、科学館以外の生涯学習施設については、各施設の特性や地域性に応じた管理運営や施設整備、貸館業務等を行う。
学習等供用施設整備事業	地元自治会からの要望に応じて、学習等供用施設の改修を行った。また、国の一般助成制度を活用した施設改修の実現に向けて、関係機関との協議や事前準備を進めた。	地元の要望や施設の状況に応じ、国の一般助成制度を活用しながら、計画的な施設改修に努める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

講座等開催事業の参加者数は目標値55,000人に対し51,854人となり、概ね達成できた。一方、学習成果活用事業は講座数が増加(目標90講座に対し83講座、前年度80講座)しているが、参加者数が減少(目標2,600人に対し2,210人、前年度2,591人)している。 2026年度以降、学習成果活用事業については、講座開催の応募条件を緩和し、既存講師の再活動を促進することで、講座開催数の増加を図るとともに、SNS等を活用し、若い世代の新たな生涯学習講師人材の発掘に努める。
